

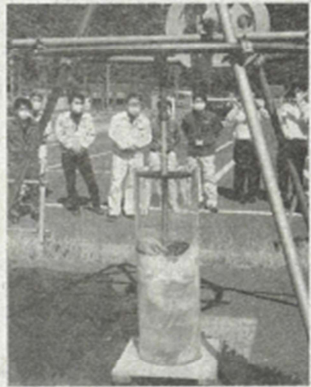
2022年(令和4年) 6月15日 (水)

# 建設工業新聞

## 井戸の保守管理ポイントを講習

### VEEma(ヴィーマ)が洗浄技術PR

井戸補修のメンテナンス専門業者、VEEma(福井市大瀬町、



ユニバーサル洗浄工法のデモ  
①②=人道の港敦賀ムゼウム前

鈴木和男代表取締役)は9日、井戸保全管理法の講習会と、洗浄技術の講演会を行った。

会場は、敦賀市金ヶ崎町の人道の港敦賀ムゼウム。井戸は本来、台帳を

つくり、定期的に点検し、メンテナンスすれば、半永久的に水資源の活用が可能。しかし行政をはじめ、井戸の所有者は、その方法や技術を知る機会がなく、放置された状態を招いていると指摘。



鈴木 和男 社長

同社では今回、全国水道連関に合わせ、長年培った長寿命化の井戸保守管理について紹介した。

施工事例を紹介する講習会では、先ずVEEmaの鈴木社長が意義を交え挨拶した。ナガオカ(本社・大阪市中央区)の担当者が、ナガオカスクリーンと取水技術をテーマに、巻線スクリーン採用のメリットを紹介。VEEmaの八杉真路工務部主任が長寿命化のための井戸保守管理ポイントとメンテナンス施工事例を紹介。関



相談会

東天然瓦斯開発のエンジニアリング事業部長貴男氏が、ケーシングパッチ工法について分かりやすく話した。金ヶ崎緑地公園で、井戸洗浄の講演も実施。参加者たちが熱心に見入り、井戸の保守管理相談会も行った。